

■尾州の知と技 「FDC匠ネットワーク」メンバー紹介⑥



FDC匠ネットワークメンバーに聞く

—————質問します—————

質問1：職歴は？ 質問2：主に携わった業務は？ 質問3：尾州産地の現状認識は？

質問4：貴方が伝承しているもの（こと）は？ 質問5：その伝承に必要なもの（こと）は？

質問6：J B東京展（16年11月）での訴求ポイントは？



海外を含む他産地との交流が大切

整理加工の匠・伊藤武司さん（所属・艶金興業）

質問1：1957年 艶金興業入社
96年 同一宮工場勤務
98年 同起工場勤務

質問2：婦人織物、同ニット、紳士織物

質問3：整理工場が5つも6つもなくなっても、産地はまだ良くなる。逆にまだまだ悪くなっていくようである。コスト安ばかりに目が向いている。残念ながら特殊な後加工をやっても値がなかなか通らない。行政で輸入規制ができないものだろうか。

質問4：1) 起毛の技術
2) ファッション感性
3) 縮絨の技術

質問5：1) 人材の育成（若者の定着）
2) 会社の魅力（やりがい、賃金）
3) 国、県など行政の支援

質問6：1) 糸染めの時に特殊染料を使い裏面のみ色を抜き、表面は朝霜が降りたような光沢のある薄起毛。
2) ウール70%シルク30%梳毛の薄起毛。梳毛は起毛回数がかかるが、十分な起毛で毛羽を出し、せん毛にてシャープに短く刈り、光沢を出したもの。
3) 糸を顔料染めしたものを特殊な洗い加工で表面効果を出したもの
4) 綿100%の塩縮加工を施し、表面を高級スエードに仕上げたもの。
5) プリント後の特殊な洗い加工で、ウール100%で糸の膨らみ、軽さとソフト感を出したもの。